

東京海上日動火災

巨額の利益をあげる一方で、もっと儲けようと、一人残らず外勤社員を切り捨てようという日本一の損害保険会社。あまりのひどさに、昨年3月、東京地裁も会社を断罪しましたが、その判決にも従いません。この暴挙をやめさせるため、私たちは、6月23日のミレアホールディングス株主総会に出席し、経営の責任を追及します。

新たに報じられる100億の「保険料取り過ぎ」

石原会長が居座ったままで社会的信頼は回復するのか

昨年の株主総会では、「保険金不払い問題」の責任を取って、石原邦夫社長(当時・現会長)は潔くやめたらどうかという声があがりました。しかし、石原氏は、「後進に経験を伝えていく」と要求を一蹴し、会長職に居座り。しかし、東京海上日動火災では、あらたに100億円を越える「保険料取り過ぎ」が報じられています。その調査対象期間のほとんどは石原会長が社長在任中のこと。この責任は、誰がどう取るのでしょうか。しかも、まだ調査

結果も出ていないのに、日本航空社外取締役就任などが報じられ、「不払い問題」などなかったかのような行動が目立つ石原会長。社会に大きな迷惑を掛けたのに、十分に反省していない証拠ではないでしょうか。重大な不祥事を引き起こした当時の最高責任者・石原会長は、ただちに職を辞し、経営態勢を一新すべきです。居座るといふなら、この会社の未来は心配です。



石原会長と隅社長は本当に儲け第一主義を反省しているのか

判決に従い、外勤社員切捨てをただちにやめよ
労使紛争の早期全面解決をただちに決断せよ

抗議先

東京海上日動火災保険株式会社

〒100-8050 東京都千代田区丸の内一丁目2番1号

電話 03-3212-6211

全日本損害保険労働組合
全損保日動外勤支部

外勤社員切捨てをやめよ
ただちに労使紛争を解決せよ

株主総会 1 週間総行動

東京海上日動火災

労働者いじめ続ける企業に未来なし

過労死、行過ぎた成果主義、偽装請負、日雇い派遣、名ばかり店長、残業管理の不正などの問題が次々と社会問題化し、労使紛争も多くの企業で解決がはかられています。グローバル競争でも、CSR（企業の社会的責任）で最も重要とされることは、労働者の雇用や権利を守ること。判決も守らず、労働者いじめを続ける東京海上日動は全くの時代遅れです。マングローブの植林でCSRを大宣伝しても全く通用しません。労働者いじめを続ける企業には未来はありません。

マングローブでCSRを大宣伝し、900人を越える外勤社員と家族を切り捨て



たたかいの歌
マングローブにだまされて
南の島ではマングローブ
さすが世界の東京マリン
こんな会社と合併ならば
何とかなると思つたものさ
だけどおいらの人生よりも
マングローブが大切だとは
夢にも思つちやいなかった
忘れられないあの怒り
マングローブにだまされて
大事なお客は捨てられぬ
かーちゃん、
こどもよみていてくれよ
俺の人生外勤社員
東京マリンにやまけられぬ
オーツ（＊）
裁判所では勝利の判決
さすがにすてたものじゃない
この判決を手にしたからにや
何とかなると思つたものさ
儲けに儲けて日本一
次々出てくる不払い問題
判決守らず弱いものいじめ
こんな会社に誰がした
（＊くりかえし）

判決、命令内容など詳細は
ホームページをご覧ください

<http://www.niu.or.jp/nichidogai/>
<http://www.geocities.jp/nichidogaikin/>もご覧下さい

全日本損害保険労働組合
全損保日動外勤支部
東京都中央区新富1-6-1京橋第5長岡ビル4階
03-3551-7131